

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 26 日 (2020.3.26)

【公開番号】特開 2020-24448 (P2020-24448A)

【公開日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【年通号数】公開・登録公報 2020-006

【出願番号】特願 2019-192575 (P2019-192575)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/031 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

C 0 9 B 67/22 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

C 0 9 B 11/28 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/031

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 2 B 5/20 1 0 1

C 0 9 B 67/22 F

C 0 9 B 67/20 G

G 0 2 F 1/1335 5 0 5

C 0 9 B 11/28 H

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 29 日 (2020.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

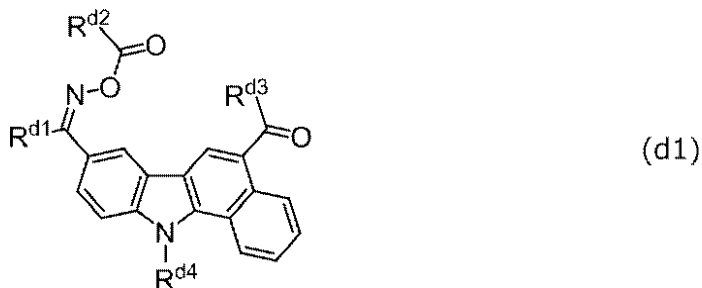
着色剤、樹脂、重合性化合物及び重合開始剤を含有し、

前記着色剤として染料と顔料とを含み、

前記樹脂としてアルカリ可溶性樹脂を含み、

前記重合開始剤として下記式 (d 1) で表される化合物を含む着色硬化性樹脂組成物。

【化 1】



[式 (d 1) 中、

R^{d1} は、置換基を有していてもよい炭素数 6 ~ 18 の芳香族炭化水素基、置換基を有し

ていてもよい炭素数 3 ~ 36 の複素環基、置換基を有していてもよい炭素数 1 ~ 15 のアルキル基、又は置換基を有していてもよい炭素数 7 ~ 33 のアラルキル基を表し、前記アルキル基又はアラルキル基に含まれるメチレン基 (- CH₂ -) は、 - O - 、 - CO - 、 - S - 、 - SO₂ - 又は - N (R^{d5}) - に置き換わっていてもよい。

R^{d2} は、炭素数 6 ~ 18 の芳香族炭化水素基、炭素数 3 ~ 36 の複素環基、又は炭素数 1 ~ 10 のアルキル基を表す。

R^{d3} は、置換基を有していてもよい炭素数 6 ~ 18 の芳香族炭化水素基、又は置換基を有していてもよい炭素数 3 ~ 36 の複素環基を表す。

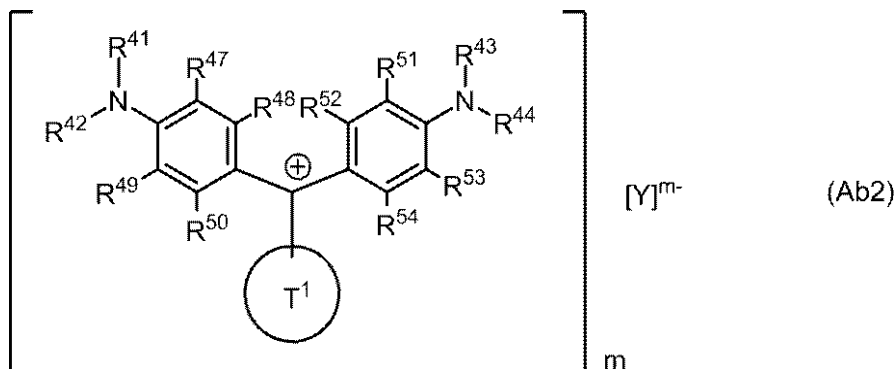
R^{d4} は、置換基を有していてもよい炭素数 6 ~ 18 の芳香族炭化水素基、又は置換基を有していてもよい炭素数 1 ~ 15 の脂肪族炭化水素基を表し、前記脂肪族炭化水素基に含まれるメチレン基 (- CH₂ -) は、 - O - 、 - CO - 又は - S - に置き換わっていてもよく、前記脂肪族炭化水素基に含まれるメチン基 (- CH <) は、 - PO₃ < に置き換わっていてもよく、前記脂肪族炭化水素基に含まれる水素原子は OH 基で置換されていてもよい。

R^{d5} は、炭素数 1 ~ 10 のアルキル基を表し、該アルキル基に含まれるメチレン基 (- CH₂ -) は、 - O - 又は - CO - に置き換わっていてもよい。]

【請求項 2】

前記染料として、キサンテン染料、トリアリールメタン染料、式 (Ab 2) で表される化合物及びクマリン染料からなる群から選ばれる少なくとも一種の染料を含む請求項 1 に記載の着色硬化性樹脂組成物。

【化 2】



[式 (Ab 2) 中、R⁴¹ ~ R⁴⁴ は、それぞれ独立して、水素原子、炭素数 1 ~ 20 の飽和炭化水素基、置換基を有していてもよい炭素数 6 ~ 20 の芳香族炭化水素基又は置換基を有していてもよい炭素数 7 ~ 30 のアラルキル基を表し、該炭素数 1 ~ 20 の飽和炭化水素基において、該飽和炭化水素基に含まれる水素原子は、置換若しくは非置換のアミノ基又はハロゲン原子に置換されていてもよく、該飽和炭化水素基の炭素数が 2 ~ 20 である場合、該飽和炭化水素基に含まれるメチレン基は酸素原子又は - CO - に置換されていてもよい。R⁴¹ と R⁴² とが結合してそれらが結合する窒素原子とともに環を形成してもよく、R⁴³ と R⁴⁴ とが結合してそれらが結合する窒素原子とともに環を形成してもよい。

R⁴⁷ ~ R⁵⁴ は、それぞれ独立して、水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、ヒドロキシ基、又は炭素数 1 ~ 8 のアルキル基を表し、該アルキル基の炭素数が 2 ~ 8 である場合、該アルキル基を構成するメチレン基は酸素原子又は - CO - に置換されていてもよく、R⁴⁸ と R⁵² とが互いに結合して、 - NH - 、 - S - 又は SO₂ - を形成していてもよい。

環 T¹ は、置換基を有していてもよい炭素数 3 ~ 10 の芳香族複素環を表す。

[Y]^{m-} は、任意の m 価のアニオンを表す。

m は任意の自然数を表す。]

【請求項 3】

前記着色剤として、フタロシアニン顔料を含む請求項 1 又は 2 に記載の着色硬化性樹脂組成物。

【請求項 4】

顔料の含有率が、固形分の総量に対して、1 質量 % 以上、50 質量 % 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の着色硬化性樹脂組成物。

【請求項 5】

重合開始剤と重合性化合物との含有量比（重合開始剤 / 重合性化合物）が、質量基準で、4 / 1000 以上、35 / 100 以下である請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の着色硬化性樹脂組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の着色硬化性樹脂組成物から形成されるカラーフィルタ。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のカラーフィルタを含む液晶表示装置。